

「愛顔のひめターン」プロモーションについて (県の移住・定住促進への取組み)

令和元年11月5日

企画振興部 地域振興局 地域政策課

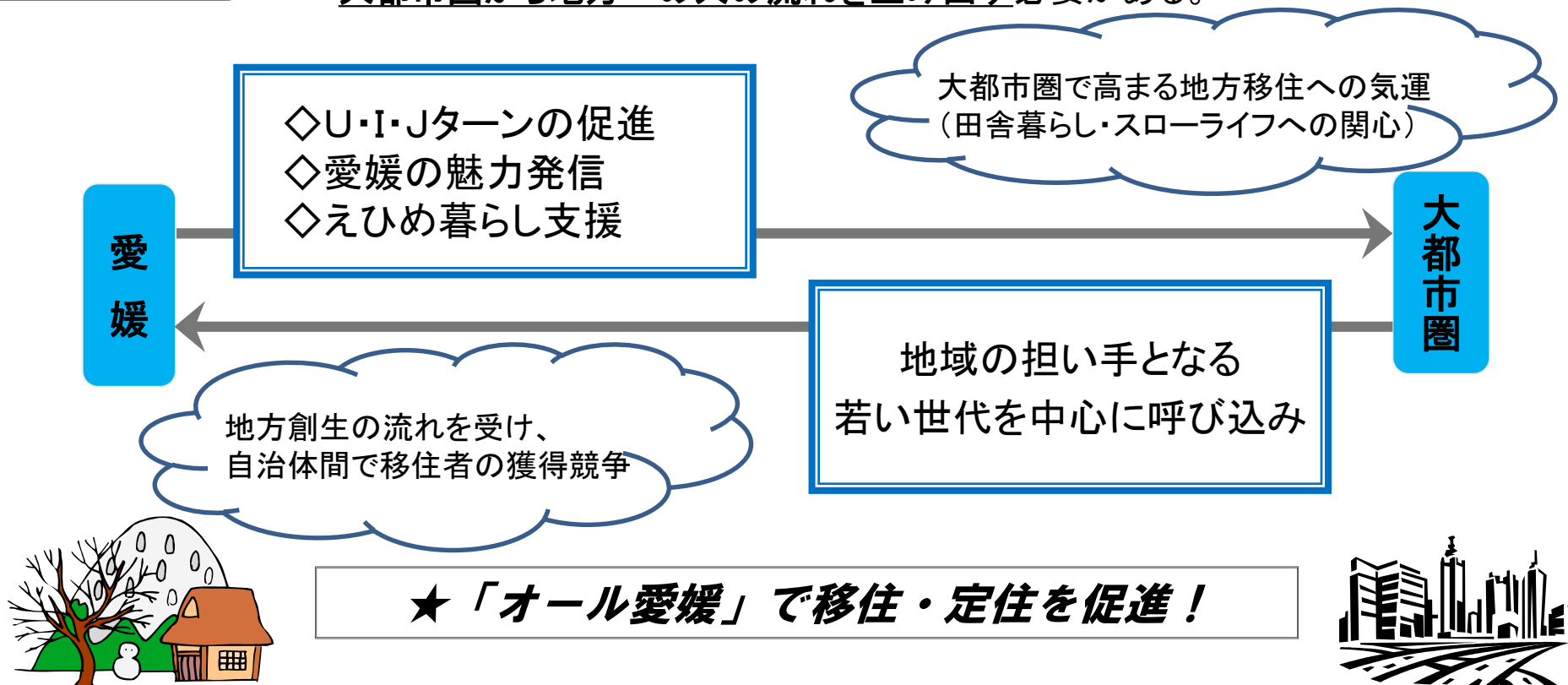
1. 現状と課題

本県の現状

- 本格的な人口減少社会の到来
⇒ 地域活力の減退 <労働力の不足、市場の縮小等>
- 過疎地域等の条件不利地域を中心に、少子高齢化が進展
⇒ 集落の維持そのものが困難に <地域コミュニティの衰退等>

本県の課題

- 少子化対策等に加え、人口の県外流出に歯止めをかけるとともに、大都市圏から地方への人の流れを生み出す必要がある。



2. 県の移住・定住促進施策

①積極的な情報発信

○県単独移住フェアの開催

- ・愛あるえひめ暮らしフェア【東京4回・大阪3回】
- ・あのこの愛媛移住フェア【東京1回】（全市町参加フェア）

○移住ポータルサイト「e移住ネット」の運営

○「愛顔のひめターン」プロモーション（女性移住希望者へのPR）

○デジタルマーケティングを活用した移住潜在層への情報発信

②切れ目のない相談体制

○移住コンシェルジュの設置【東京、愛媛】

○地域移住相談員の設置（先輩移住者、地域おこし協力隊OBなど）

③就業の促進

○えひめ暮らし魅力体感ツアー（県内での6泊7日の生活、作業、宿泊体験）

④住まいの確保

○空き家情報バンクの運営

○移住者の住宅改修支援（市町と連携した住まいの確保支援）

⑤確実な定着支援

○えひめ暮らし応援隊（サービス提供可能な民間企業による応援組織）

○えひめ暮らし倶楽部（移住者同士の交流組織）

3. 愛顔のひめターン」プロモーションの実施

1 目的

過疎地域での女性の担い手確保のため、大都市圏での生活や子育てに疲れ、質的な生活の豊かさや「いやし」を求めて地方への移住を希望している女性をターゲットにしたプロモーション等を実施し、更なる移住者の呼び込みを図る。

2 特長

「通勤、通学時間が短い」、「家賃が低い」、「女性のストレスオフランキング1位」といった愛媛の暮らしやすさに加え、「愛媛」(媛を愛する)という県名に着目して、他県との差別化を図る。

3 内容

- ・ラジオ番組「スカロケ移住推進部 × 愛媛県」
- ・女性ライターによる「TURNWeb」での情報発信
- ・番組内で募集する移住体験者による現地体験レポート
- ・「愛顔のひめターン」セミナーの開催



戻る

90. Love
TOKYO FMスカロケ
移住推進部

毎週木曜日 18時25分頃～

スカロケ移住推進部長・堀口正裕さん (TURNSプロデューサー) とともに、
リスナー社員の可能性を広げるため日本全国の魅力を発信中!
木曜日は、スカロケ流働き方・生き方改革を考えましょう!

移住イベント 潜入レポート!

2018年11月23日～30日に行われた
「愛顔のひめターン『愛媛県♪移住体験』」
スカロケ移住推進部 特派員レポート!!



移住体験いただいたのは…

竹尾奈津子さん

東京出身。都会でしか暮らしたことがなかったが、

3年前に夫の転勤で山梨へ。

現在は3人のお子さんと家族5人で甲府に暮らしています。



高原のトマトと里山の風景に惚れて移り住み、大切なものを継いでいく。

愛顔のひめターン連載企画VOL.1【久万高原町 トマト農家 上村芽衣子さん】



じぶんも目標も変えてくれたこのまちで、ずっと暮らしていきたい。

愛顔のひめターン vol2【松野町 地域おこし協力隊 岸本有希さん】



安心感しかないこの島で、暮らしとムーブメントをつくっていく

愛顔のひめターン vol3【愛媛県今治市（大三島） 会社員（リモートワーク）ゲストハウス経営 徳見理絵さん】



Uターンしなきゃ分らなかった、故郷暮らしがもたらすもの。

愛顔のひめターン vol.4【愛媛県西予市（宇和町） 美容室経営 廣瀬友美さん】

